

# 2月



## ほけんだより



令和5年2月16日

横浜市立森の台小学校

校長 大幸麻理

空気が澄んで冴えわたり、立春とは名ばかりの寒さが厳しい日が続いています。

今年の冬はインフルエンザが流行しています。一人ひとりが感染対策を徹底し、この冬を元気に乗り越えたいものです。

### インフルエンザが流行しています！！

今年の冬は2年ぶりにインフルエンザが流行しています。本校でも、既に学級閉鎖の措置をとったクラスも複数あり、これからも感染予防対策に力を入れる必要があります。

今年のインフルエンザの流行状況は、横浜市内ではA型が99.3%、B型が0.6%、A・B型ともに陽性0.1%と、A型が多く検出されています。

インフルエンザにかからないためには、「丁寧な手洗い」や「適度な加湿」、「咳エチケットの徹底」など適切な対策を一人ひとりが心掛けていくことが大切です。

#### 1. インフルエンザの症状は・・・

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、激しい悪寒、全身倦怠感などの症状が急激に現れます。



#### 2. インフルエンザにかかったら・・・

インフルエンザにかかったら、出席停止となります。出席停止期間は、「発症後5日間かつ解熱した後2日を経過するまで」であり、発症した日から数えると6日間の出席停止が必要となります。その後は解熱した日によって出席停止日が延期されていきます。

インフルエンザが治癒して、登校した日に健康手帳をお子様に渡します。最終ページに病名、欠席期間等を記入する欄がありますので、保護者の方が記入して担任に提出してください。(病院での治癒証明書等は必要ありません。)

#### 例えば、発症後2日目に解熱した場合



#### 例えば、発症後4日目に解熱した場合



# 学校保健委員会を行いました

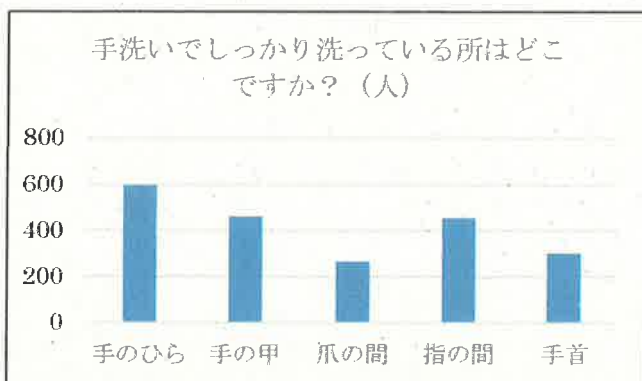
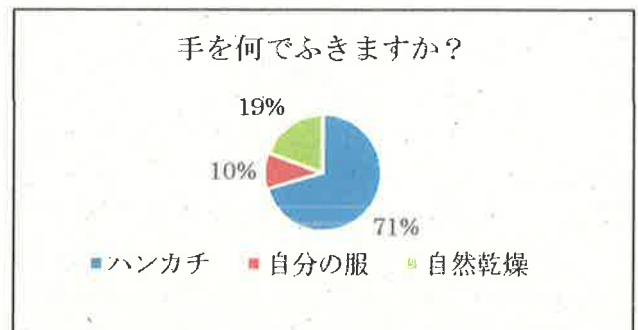
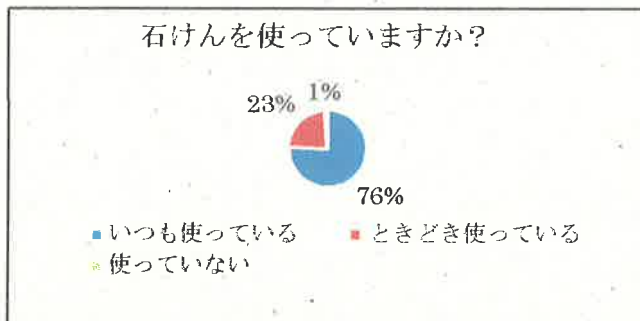
1月13日（金）6時間目に、児童保健委員会が中心となり学校保健委員会を開催しました。

今年度のテーマは「日頃の手洗いを見直し、正しい洗い方を身につけよう」でした。

保健委員会の児童が、全校児童みんなの手洗いについての意識や実態についてアンケートをとり、まとめたものを報告しました。また手洗い実験を行い、その結果について報告しました。それらを踏まえて、今後どのように手洗いに取りこんでいったらよいかを話し合いました。

みんなの給食を安全に作ってくださる栄養教諭の武井先生を招き、手洗いの大切さについて、お話しただくとともに、学校薬剤師の福成先生からもメッセージをいただきました。

## ・森小児童の手洗いについて（アンケートの結果をもとに）



## ・手洗い実験の結果

寒天培地を使って、いろいろな場合の、手に付いている細菌を培養した結果を見てみました。外遊びの後、清掃の後、水だけで手洗いをした後、石けんを使って手洗いをした後、手洗い後衣服で拭いた後等、見てみました。結果、しっかり石けんで洗うことが大切、そしてその後、清潔なハンカチで拭くことも大切であることがわかりました。

## 栄養教諭 武井先生のお話し

「手洗いは食中毒や病気を予防するためにとっても大切です。石けんでしっかりと手洗いができれば病気を予防できます。給食室では「1作業・1手洗い」で作業が変わるごとに手洗いをしています。みんなも休み時間の後、そうじの後など、作業が変わる毎に手洗いをすることを勧めます。手洗い後、きれいなハンカチを使うことも大切です。給食前の手洗い後も気を付けてほしいことがあって、並んでいるときに前の人に触ったり、靴に触ったりする人を見かけるのでやめてほしいです。この季節、水が冷たいけれどもしっかりと手洗いをしていきましょう。」

## 学校薬剤師 福成先生のお話し

「手洗いはとても大切です。冬に流行るインフルエンザやノロウイルス予防にも手洗いはとても大切です。みんなは、手洗いの大切さをわかっていながら、つい手先を濡らすだけだったり、水だけで済ませていませんか？水が冷たくてしっかりと手洗いをするのは大変だけれど、家の外には目に見えない菌やウイルスがたくさんいます。目に見えないので手などについて家の中に持ち込んだりしてしまうこともあります。手洗いをするだけで多くの菌やウイルスを取り除くことができます。石けんを使って、しっかり手のすみずみまで、こまめに手洗いをしていきましょう。また手洗いの後はきれいなハンカチで拭くようにしましょう」